

2008 年度

科目名 経済と社会 A	対象学科・学年 文学部全学科 1 回生 教育教福 1 回生 人間人社 1 回生	担当者 村上 慎司
授業テーマ 経済の観点から私たちが暮らす社会を考える。		
授業の概要と目標 私たちが暮らす社会は経済と深く結びついています。例えば、服や食べ物を買うこと、働いてお金を稼ぐこと、税金を納めること、社会保障を受けること、などが挙げられます。さらに現代日本社会は、食べ物の偽装、不安定な労働、格差や貧困などの経済に関わる問題に直面しています。この授業は、消費、お金、労働、社会保障という四つのテーマを設定して、現代日本社会がどのようにあるのかを皆さんと一緒に学び、考えていこうと思います。		
評価方法 各テーマの最終授業時間内に小レポートを書いて、提出していただきます。この小レポートを基にしたレポートを提出していただき、それを最終的に評価します。		
テキスト 特に指定しません。毎回授業で資料を配布しながら授業を進めます。	著者	出版社
参考書 配付資料の中で、その都度テーマに応じて指示・紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. はじめに：社会の中の経済、経済からみた社会 2. 消費について（1）：経済学の観点から消費と市場の基本的考えを学ぶ。 3. 消費について（2）：顕示的（見せびらかしの）消費とブランドの意味を考える。 4. 消費について（3）：食料品などの偽装表示問題を考える。小レポート（1） 5. お金について（1）：金融や投資というお金の流れを学ぶ。 6. お金について（2）：消費税や所得税などの税金を学ぶ。 7. お金について（3）：国によるお金の使い方を考える。小レポート（2） 8. 労働について（1）：不安定化する労働（フリーター、派遣労働など）を考える。 9. 労働について（2）：ワーキング・プア（働く貧困層）やネットカフェ難民という貧困問題を考える。 10. 労働について（3）：ディーセント・ワーク（安心して働ける仕事）を考える。小レポート（3） 11. 社会保障について（1）：入門的な社会保障と福祉国家を学ぶ。 12. 社会保障について（2）：経済学の観点から医療保険の基本的考えを学ぶ。 13. 社会保障について（3）：経済学の観点から年金の基本的考えを学ぶ。 14. 社会保障について（4）：生活保護と貧困問題を考える。小レポート（4） 15. 総復習		